

■ 革新的エネルギー技術実証衛星 ■

「DENDEN-01」との通信に成功、運用開始

～ 複数のエネルギー技術・高負荷ミッションの軌道上実証がスタート ～

関西大学化学生命工学部の山縣雅紀 准教授、福井大学産学官連携本部の青柳賢英 准教授、名城大学理工学部の宮田喜久子 准教授、株式会社アークエッジ・スペースらの共同研究グループで開発する 10×10×10 cm (1U サイズ) の超小型人工衛星「DENDEN-01」が国際宇宙ステーション（以下、ISS）から放出され、衛星との通信に成功し、運用を開始しました。

DENDEN-01 は、日本時間 12 月 9 日(月) 20 時 17 分に、ISS の「きぼう」日本実験棟の小型衛星放出機構（通称: J-SSOD）から放出されました。その後、試験電波による通信によって衛星情報の取得に成功しました。DENDEN-01 は、1 ヶ月程度の初期運用を行ったのち、計画しているさまざまな実証実験を行う予定です。

本件の
ポイント

- ・ 12 月 9 日に DENDEN-01 の国際宇宙ステーションからの放出に成功
- ・ 衛星と地上局との通信に成功
- ・ 衛星搭載 920 MHz 帯小型省無線通信によるバックアップ通信機能の動作確認に成功
- ・ 軌道上での実証試験を開始

【DENDEN-01 について】

DENDEN-01 は 2021 年度末に国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構(JAXA)および NPO 法人大学宇宙工学コンソーシアム(UNISEC)により公募された「学術利用及び人材育成を目的とした『きぼう』からの超小型衛星放出機会の提供プログラム(J-CUBE)」の 2021 年度打ち上げ枠(国内先進ミッション枠)に採択された超小型衛星。本衛星では、「固-固相転移型潜熱蓄熱材(SSPCM)」を活用した電源温度安定化装置はじめ、今後の超小型衛星開発に貢献する複数のエネルギー技術および高負荷ミッションの軌道上実証を行います。

衛星詳細は 2024 年 6 月 25 日付報道発表資料を
ご参照ください

<https://x.gd/2zRJ4>



DENDEN-01 の放出の様子 (J-SSOD#30)

<https://www.youtube.com/watch?v=vvUthxds36A>

※JAXA イベントライブ配信チャンネル



DENDEN-01 プロジェクト公式ウェブサイト

<https://denden01.kansai-u.space/>



<ISS から放出される DENDEN-01 写真: NASA>

発信元

名城大学 渉外部 広報課

〒468-8502 名古屋市天白区塩釜口 1-501

Tel : 052-838-2006 Fax : 052-833-9494

E-mail : koho@ccml.meijo-u.ac.jp